

平成30年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市都市公園（大畑中央公園）及びむつ市兔沢スキー場		
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育振興会	
	代表者	理事長 奥 川 清次郎	
	所在地	青森県むつ市大畑町中島108-5	
指定期間	平成30年4月1日～平成32年3月31日（2年間）		
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的 むつ市の体育スポーツ振興を図るとともに、生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大畑中央公園及びむつ市兔沢スキー場の施設管理維持に関すること。 ・大畑中央公園及びむつ市兔沢スキー場の広報及び利用促進に関すること。 ・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のため施設提供に関すること。 ・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。 		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	48,840	24,845	△23,995
うち利用料金額	2,300	1,502	△798
うち指定管理料	46,540	23,270	△23,270
支出合計 (B)	48,840	21,248	△27,592
うち人件費	24,493	10,548	△13,945
収支差 (A-B)	0	3,597	3,597
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>プール施設の収入は、平成28年度の条例・使用料の改定により増額したこともあって減少したが、前年は幼児の利用促進のため児童生徒（170円）より安価な未就学児区分（100円）の利用料金を設定して利用者の増加とともに収入にも反映している。</p> <p>また、今期は一般（340円）より安価なシニア料金（200円）を設定した。シニア料金区分は、満61歳からを対象として実施した。シニア料金区分は、前年対比で利用者は増えており、収入の確保に効果がある。</p> <p>ただし、児童生徒の利用が減少しており、全体の収入額の減少は今後の課題である。</p> <p>プール施設の収入は1,208,440円であり、前年より306,970円減少した。夏休み期間は前年より増加したものの、開設から6月までの利用が伸びず全体として低迷している。これから迎える下半期は利用者が減少する時期であるが、開設までの期間は温水プールの特性を活かして、施設の周知とともに利用促進に努め、さらなる収入の上乗せを図りたい。</p>		

野球場施設は、前年同様に推移している。今期の大会・催事の予定はほとんど終了した。今年度の利用件数は65件であり、前年より6件増加した。利用者数は1,816人で前年より400人減少した。

野球場施設の収入は143,260円であり、前年より3,340円増加した。

庭球場施設は、利用料金及び利用者数ともに前年より減少した。一般利用は例年並みであったが、児童生徒が減少する学校部活の利用がないことが主たる要因である。

庭球場施設の収入は32,770円であり、前年より20,240円減少した。

陸上競技場施設は、前年より微増した。

フィールド使用については良質な芝生であるため、ニーズが高まってきており、大会や練習試合等の利用促進を図り、さらなる誘致に取り組みたい。

トラックの使用については、スポーツ少年団の利用が多かった。一般利用は少なく、平成28年以降のトラック使用の利用料金が生じてからは、一般の簡易なウォーキング等の利用が減った。

陸上競技場施設の収入は117,270円であり、前年より7,175円増加した。

スキー場は、12月からの開設である。降雪を期待して万全の準備を持って運営に当たる所存である。

スキー教室も企画しており、付帯施設の食堂も週末祝日に稼働する予定である。『ジオパークをイメージした弁当スタイルのプレート』や『ムチュランをデコレーションしたカレーライス』の提供など新たな試みも検討している。

支出について、事業計画の予算に基づき執行している。利用料金収入が見込みより少ない状況であるため、全体経費を圧縮している。

人件費は、前年より指定管理料が減少したため圧縮した。正規職員の構成員数を減らして、安全な管理体制を維持している。そのため、一部の公園草刈り業務は、外部に委託して全体の経費内でやりくりしている。

燃料費、電気料及び水道料は、日々の節減に努めている。職員間の連携を密にすることで、不足のない申し送りと共有意識を高めている。また、各種使用量等の統計を確認し、具体的な節減について声かけを行うなど、具体的に取り組んでいる。

支出については、予算執行を把握し、計画的且つ効果的な業務になるよう、周知徹底をしており、充実した業務に反映させたい。

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	プール	9, 6 0 0	6, 8 1 3	△ 2, 7 8 7
	野球場	2, 6 0 0	1, 8 1 6	△ 7 8 4
	庭球場	8 0 0	2 3 9	△ 5 6 1
	陸上競技場	4, 0 0 0	4, 1 6 7	1 6 7
	スキー場	1, 7 0 0		

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を送信できるようにしている。

また、不定期にアンケートを実施しており、利用者の意見や要望とともに居住地や利用の頻度などを収集し、利用者満足度の把握に努めている。

意見箱で受けた意見等については、全員で検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応している。

意見箱及びホームページからの送信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており、利用者にも報告を兼ねて公表している。

意見の内容は、好意的な意見が多い。中には要望も含まれており、月次報告や口頭により担当課に申し送りをしている。特に施設設備に係る備品等について、数年に渡る要望の物品が予算化されない部分は、誠意ある説明又は創意工夫を持って対応している。

利用者からの苦情については、真摯に受け止めている。施設管理者側の真意を丁寧に説明し、ご理解を得られるよう、速やかに事実に基づき誠意を持って対応することを徹底している。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
スポーツ振興事業・水泳教室	8 6 0	8 2 8	3 3 9
スポーツ振興事業・ルディックウォーキング教室			
スポーツ振興事業・初心者スキー教室			
食堂事業 (ヒュッテ食堂実数)			

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

今期は、開設当初から肌寒い日が続いた。7月後半に気温が高くなり、気分も高揚する夏休みの始まりだったものの、お盆の頃には秋の気配を感じる天候に変わった。そのためか主たる収入のプール施設は、一般利用者の利用が停滞した。

事業経営については、指定管理者として行政の代行であることを念頭に、住民サービスに寄与することを徹底した。むつ市から委任を受けた事務であることから、条例及び規則の範囲内で事業計画に基づき業務を遂行するとともに、利用者の状況及び統計等は、正確に把握することを徹底している。

事業経費の削減及び柔軟な発想による利用者サービスの向上、施設の活性化は指定管理者の基本とすべき役割であることを理解して業務にあたっており、指定管理者として意識を高めるために、基本的な対応及び業務について職員研修を開催している。

定期的な従事員研修は、プール開設前、プールが繁忙期を迎える前、スキー場開設前に実施することとしており、加えて消防計画に基づく消防訓練や救命救急を適時実施している。

職員の配置については、人件費を鑑み人員を雇用し配置している。勤務は、シフトによる交替勤務となっている。

特にプールにおける安全配慮が最優先であることから、利用者の状況に応じて柔軟に対応することを前提としており、監視員及び救護員の配置を優先とした配置を行っている。

プール施設は、遊泳者の監視及び救護とともに熱中症予防の室温掲示や安全に利用するための注意

喚起を実施した。併せて更衣室の巡回による衛生面の充実を図った。

各競技場施設の安全点検は定期的実施しており、環境設備及び営繕については、天候を鑑みプールの管理と同時に適時行っている。

管理運営するにあたり、一人ひとりの意識を高めるために毎日のミーティングを大切にしており、シフト勤務であるため、申し送りが不足しないためにもミーティングノートを活用している。ノートに要旨を記録し、周知することで連携を高めている。

また、利用者への接遇についてもミーティングを通して、利用者目線を意識した情報の共有に努めた。ミーティングにより情報を共有することで、電気や水道の使用量等の統計も把握でき、声かけによる節約を実践している。

併せて、事故防止、危機管理、就業意識や管理能力の向上については、従事員研修をもとに適時確認している。

施設管理に係る外部機関で開催する研修等については、積極的に参加している。その研修内容は、従事員研修等の機会に伝達講習を実施して、職員への周知徹底を図っている。

更なる利用者の取得に向けて、創意工夫や広報活動に努めている。

広報については、施設の利用促進のために努力している。

計画的に実施する自主制作チラシは市内の小学校を中心に配布している。今期は、未就学児及びその保護者の利用機会の拡大をねらい、幼稚園及び保育園にも配布した。

また、ホームページについても毎日更新して、プール施設の開館時間を掲示するなど情報を発信しており、ブログでは、施設の状況や大会に参加する選手たちの活躍、大会成績なども紹介した。

自主事業により施設の活性化に寄与している。

継続する水泳教室は、開催日を増やして利用の機会を増やすとともに、公益的な活動のスポーツ振興に大きな役割を果たしている。

新たな水泳教室として「女性コーチによる女性限定水泳教室」を開催した。利用者ニーズを実現した形であり、今後の発展に期待している。

水泳教室の参加者は、9月末までで延べ860人である。プール利用者数の約12%である。

下半期は、ノルディックウォーキング教室や冬のスキー教室も予定している。

また、スキー場に併設する食堂を運営して、施設の多目的化を図るとともに、スキー場利用の機会を増やし、スポーツ振興、健康増進、そしてふれあいの推進を図りたい。

これまで当施設の管理を行ってきた経験を活かして、効果的な運営実績を報告できるように努める所存である。

7. 市の所管課総合評価 ④市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

今期のあさひな丘プールは未就学児区分料金やシニア料金設定により、利用者の増加など一定の効果があり、昨年度同様、創意工夫で利用者に満足してもらえるような取り組みであり情熱を感じる。

また、積極的に研修に参加することにより、様々なリスク管理への対応等にも備え、利用者の満足度を高めようと努力していることが見て取れる。

季節は冬となり、スキー場の開設が予定されているが、スキー場食堂の新たな取り組みも計画内に記載され、大いに期待している。引き続き、気を引き締め「安全管理」の徹底も併せてお願いし、利用者に充実した時間を与えていただきたい。